

別子山公民館 令和5年4月号

地域文化の伝承「おとうふ作りに挑戦」 別子校区地域教育力向上プロジェクト推進事業^が



地域文化の伝承活動として、今回は別子山地域で古くから行われてきた「とうふ作り」を再現させていただきました。食文化の伝承活動として前回、「こんにゃく作り」を行いました。そもそも栄養の「摂取」を目的とせず、「排出」を考えたこんにゃくは食物繊維を利用してお腹の掃除をするという食べ方は、珍しい習慣と言う事で、健康を基にした食文化を知ることが出来本当に勉強になりました。

また、新型コロナウイルス感染症も感染者数も運よく減少傾向が続き、落ち着きを見せましたので食に関する事業活動にも、弾みをつけることが出来、尚も丁寧な感染対策を行う事で実施に踏みきることが出来ました。

今回の食文化伝承活動では、「おとうふ作り」を実施いたしました。もともと豆腐発祥の地は、中国とされており、その起源は西暦の紀元前2世紀、少なくとも唐代中期頃には、豆腐は造られていたと思われます。

なお、中国各地さらに世界からも関係者たちが集い中国豆腐文化節が盛大に開催されていたそうです。

日本に伝来したのは、古くは奈良時代(710~784年)に、中国に渡った遣唐使の僧侶等によって伝えられたとされていますが、明確な記録はなく、豆腐が記録として登場したのは、寿永2年(1183年)、奈良春日大社の神主の日記に、お供物として「春近唐符一種」の記載があり、この「唐符」が最初の記録と言われています。いずれにしてもわが国で豆腐が造られたのは、奈良・平安時代からと言えそうです。当初は、寺院の僧侶等の間で、次いで精進料理の普及等にもない貴族社会や武家社会に伝わり、室町時代(1393~1572年)になって、ようやく全国的にもかなり浸透したようです。製造も奈良から京都へと伝わり、次第に全国へと広がったそうです。

本格的に、庶民の食べ物として取り入れられるようになったのは、江戸時代で、天明2年(1782年)に刊行された豆腐料理の本「豆腐百珍」は、爆発的な人気を呼び、翌年「豆腐百珍続編」、翌々年「豆腐百珍余録」が出版され、当時ブームとなった料理本「百珍物」のさきがけとなったといわれております。当時の豆腐の普及ぶりがうかがえます。

その後、豆腐は全国の津々浦々まで普及し、今日では健康食品、ダイエット食品としても注目され、広くご支持頂いているところです。豆腐製品は、日本の気候、風土、水、あるいは日本人の繊細な気質等にはぐくまれ、日本の豆腐として独自の製品に発展、今日にいたっているようです。

丁度実施日当日は、朝から風が強く雪も降り、非常に寒い悪条件下で行われましたが、皆さん防寒対策を整え行われました。

今回も様々な調理器具等を皆さんからお借りし、場所も講師の先生にご提供いただくなど極寒の寒さ以外は、暖かいおもてなしをいただき実施することが出来ました。

この伝承活動は、これまで何世代も受け継がれてきた地域文化を守り継承するための事業で、ともすれば消えてしまう食文化に焦点を当て、一つ一つ再現し冊子にして伝え残す事で、次世代に継承する事を目的として始めました。

これからもこの様に、次世代に受け継ぎ残す活動を展開して行き、貴重な食文化等を守り伝えていきたいと思っております。

ご協力頂きました皆さん本当にありがとうございました。



大豆洗浄



大豆ミキサー処理



大鍋で煮込む



完成

エドヒガン桜周辺整備作業予定日程

日時：令和5年4月2日(日) 午前9時~

場所：別子山大野

毎年の恒例行事であります、樹齢300年以上の巨木となりました、市指定天然記念物「エドヒガン桜」の周辺整備作業を行います。

今年も暖かい日が続いておりますので、早期の開花が望めると思われますので、作業当日は小雨でも決行したいと思います。

各自で準備を整えご参集いただきますようお願いいたします。以後、満開の桜を期待しましょう。



昨年：4月10日開花状況

第56回にはま春の市民文化祭について

第56回にはま春の市民文化祭を次のとおり開催します。
ぜひご来場ください。

芸能の部 (入場無料)
第1部 4月8日(土) 開演 13:00~
器楽、民謡、日舞、舞踊、箏曲、民踊、洋舞
第2部 4月15日(土) 開演 13:00~
器楽、日舞、洋舞、吟詠、尺八
第3部 4月16日(日) 開演 13:00~
和太鼓、吟詠、詩舞、能楽(仕舞い)、よさこい
第4部 4月23日(日) 開演 14:00~
新居浜市民吹奏楽団 スプリングコンサート
※各公演、開場は開演30分前となります。
場 所 新居浜市市民文化センター 大ホール

美術の部 (入場無料)
会 期 4月8日(土)~16日(日)
9:30~17:00
※10日(月)は休館日
※「ナイトミュージアム」13日(木)は19時30分
まで延長開催
部 門 書道・日本画・洋画・工芸・写真・デザイン・版画・
絵手紙・文芸・華道
※華道の会期は、13日(木)14日(金)
15日(土)16日(日)
お茶会 4月8日(土)10:30~15:00
呈茶料300円
場 所 あかがねミュージアム



今回、初の試みとして、学校や仕事の都合により、美術館の開館時間内に来られない方々が、お気軽にご来館いただけますように、
4月13日(木)は、ナイトミュージアム(19:30まで開館延長)を実施いたします。
ぜひこの機会に、あかがねミュージアムへお立ち寄りください。

※『文化芸術スタンプラリー』
実施!!

今年度は、文化イベントを巡るスタンプラリーを実施します。
スタンプを集めて素敵な景品をゲットしてください。

新居浜市議会議員選挙のお知らせ

4月23日(日)は愛媛県議会議員選挙の投票日です。
告示日 4月16日(日)
投票日及び時間 4月23日(日) 午前7時~午後6時
場所 入場券に記載された投票所
※「投票所入場券」は告示日以降に順次、各家庭に郵送します。
土日は配達がありませんので、届くのに5日程度かかる場合がありますが、**入場券がなくても投票はできます。**
【タクシーによる投票移動支援のお知らせ】
投票日当日に限り、自宅から投票所(別子山支所)まで、
タクシーによる送迎を実施します。
利用できる日時: 4月23日(日) 午前8時~午後6時
対象者: 別子山地域の有権者及びその家族(子どもなど)
利用料金: 無料

移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が、別子山地区にやってきます。
みなさん是非ご利用ください。
4月は、20日(木)に巡回します。
別子小中学校 13:00~14:00
※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。
※1人10冊まで借りる事ができます。
その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL 0897-32-1911

主婦補のひとりごと

別子山公民館の小山でございます。
朝に別子山公民館の玄関から見上げる太陽の位置がだいぶ高くなりました。
山の景色も冬から春に変わりましたが、まだまだ寒い日が続いています。去年の今頃は、別子ダム水位が低下して七番ダムの堤体が姿を現していた記憶がありますが、今年は、まだ水の中にあるようです。
3月も終りに近づき、来月からは新年度を迎えます。今年度を振り返ってみると、昨年は別子小学校の生徒が数年ぶりに1年生から6年生まで全学年の生徒がそろい、夏休みには子供たちがプールで遊んだ後、毎日のように公民館にも遊びに来てくれて賑やかだったことや、中学生たちが12年ぶりに復活させた「夏まつり」のことなどを思い出します。
今年に入ってから、コロナ騒動により制限されていた公民館での調理室利用が緩和されたことにより、別子山の伝統製法に沿った、こんにやく作りや豆腐作りも実施されました。
来年度は、別子山に自生する山菜の「山菜ごよみ(暦)」がつくれれば良いかと、漠然と考えるのでした(終わり)



なかよしのねごと



今年も桜の開花が全国的に早い様で市内でも3月後半を迎え満開状態となっております。

別子山の桜も、早咲きの桜は開花しておりますが、我々が巨木のエドヒガン桜は、昼間は心地よい陽ざしに包まれ、つぼみも膨らんでくるものと思われま。季節どおり、花冷えの時期ですので、ゆっくり咲いてほしいものです!!

さて、長く続いた新型コロナウイルス感染症も、やっと下火となりマスク着用も個々の判断にゆだねられました。

ですが、日々の感染者がゼロになったわけではありませんので、人の往来が激しくなりますとリバウンドの懸念があります。まだまだそれぞれの注意喚起が必要ではないかと思っております。私は、引き続きマスクの着用や手洗い3密の回避などしばらくは基本的な感染対策を続けていきたいと思っております。

さて、こんな言葉がございます。「人に接する時は、暖かい春の心。仕事をする時は、燃える夏の心。考える時は、澄んだ秋の心。自分に向かう時は、厳しい冬の心」人の営みにおいて季節ごとに心の持ちようを描いていますが、春の心は全てにおいて新しい出会いの時でもございます。「暖かい春の心」を忘れず日々精進してまいりたいと思っております。

これから春本番、気温も上昇し過ごしやすいつ時期を迎えますが、季節の変わり目ですので、感染症のみならず身体には十分注意をしてお過ごしください。